

平成23年第1回辰野町議会臨時会会議録

1. 招集告示年月日 平成23年1月7日
2. 開会場所 辰野町議事堂
3. 開会年月日 平成22年1月13日 午後3時30分
4. 議員総数 14名
5. 出席議員数 13名

1番	矢ヶ崎 紀 男	2番	前 田 親 人
		4番	中 谷 道 文
5番	中 村 守 夫	6番	永 原 良 子
7番	船 木 善 司	8番	岩 田 清
9番	根 橋 俊 夫	10番	成 瀬 恵津子
11番	宮 下 敏 夫	12番	宇 治 徳 庚
13番	山 岸 忠 幸	14番	篠 平 良 平

6. 会議事項

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案第1号 平成22年度辰野町一般会計補正予算（第8号）

日程第4 議案第2号 平成22年度辰野町介護老人保健施設特別会計補正予算
（第3号）

7. 地方自治法第121条により出席した者

町長	矢ヶ崎 克 彦	副町長	林 龍 太 郎
教育長	古 村 仁 士	代表監査委員	小 野 眞 一
総務課長	小 沢 辰 一	まちづくり政策課長	松 尾 一 利
住民税務課長	松 井 夕 起 子	保健福祉課長	野 沢 秀 秋
産業振興課長	中 村 良 治	建設水道課長	増 沢 秀 行
水処理センター所長	一ノ瀬 保 弘	会計管理者	金 子 文 武
教育次長	林 一 昭	病院事務長	荻 原 憲 夫
福寿苑事務長	宮 原 正 尚	消防署長	赤 羽 守
両小野国保診療所 事務長	向 山 光	社会福祉協議会 事務局長	林 康 彦

8. 地方自治法第 123 条第 1 項の規定による書記

議会事務局長 桑 沢 高 秋

議会事務局庶務係長 赤 羽 裕 治

9. 地方自治法第 123 条第 2 項の規定による署名議員

議席 第11番 宮 下 敏 夫

議席 第12番 宇 治 徳 庚

10. 会議の顛末

○局 長

ご起立願います。(一同起立) 礼。(一同礼)

○議 長

新年あけましておめでとうございます。また本年もよろしくお願いをいたします。定足数に達しておりますので、これより平成23年第 1 回(1 月)辰野町議会臨時会を開会いたします。欠席届の報告を申しあげます。三堀善業議員が家族の看護のため欠席する旨の届が提出されております。直ちに本日の会議を開きます。本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。第 1 回臨時会招集にあたり町長より挨拶を受けます。

○町 長

改めまして新年明けましておめでとうございます。穏やかに希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。議員各位をはじめ、町民の皆様のご多幸をお祈り申し上げる次第であります。

去る 9 日は辰野交通安全協会をはじめとする初出式が挙行され、また辰野消防署消防団、奉仕団の出初式の式には阿部県知事をお迎えし厳粛にかつ盛大に開催されました。年末年始の山陰地方の豪雪の報道や、年明け以降の寒気団による低温気象の予報等大変気にかかる所であり、改めて安全・安心のまちづくりへの決意を新たにした所であります。さてここで平成23年第 1 回辰野町議会臨時会を招集いたしましたところ、年頭のご多忙の中、ご出席を賜り感謝を申し上げます。昨年の経済は緩やかに回復しつつあると言われながらも景気の足踏み状態が続き、12 月の日銀の業況判断指数いわゆる D I は 7 期ぶりに悪化に転じ、先行きは不透明感が強まっておるところであります。雇用面におきましても上伊那地方の有効求人倍率は 0.66 倍と 2 年余り連続で 1 倍を下回り低い水準が続いております。うさぎ年にあ

やかった飛躍の年になることを望む次第であります。さて国会もまもなく招集となりますが、92兆4,000億円の平成23年度の大型予算が閣議決定をされたところであります。景気回復や若者の雇用対策等の経済対策と平行して環太平洋経済連携、いわゆるTPPに対応できる農業基盤の確立や医療の面においても外国人の自由診療に伴う国の皆保険に加えての混合診療への危惧等、構造的な施策と切れ目のない予算執行に向けての菅政権の舵取りを期待するところであります。町でも新年度の予算編成に向けての作業に入っているところでありますが、町税収は減少が避けられず限られた財源の中で選択と集中により、住民の真意の反映のできるような予算編成を進めてまいりたいと思っております。いよいよ本年は最大の福祉事業であります病院の建設に着手する年でもあります。上伊那公立3病院の一翼を担い病院を死守する覚悟を新たに、経営検討委員会を中心に経営改善に取り組みながら辰野病院の移転新築事業を進めてまいりたいと思います。議員各位の一層のご理解とご協力のほどをお願い申し上げます。

今臨時会に提案いたします議案は、国の円高デフレ対応のための緊急総合経済対策としての地域活性化交付金が創設されたことに伴う交付金事業を中心とした、一般会計補正予算（第8号）と介護老人保健施設特別会計補正予算（第3号）の2議案であります。提案時、それぞれご説明申し上げますので慎重審議をいただきまして原案可決くださいますようお願いを申し上げ、臨時会招集にあたってのご挨拶とさせていただきます。

○議長

これより日程に基づく会議に入ります。日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は会議規則第115条の規定により、議席11番、宮下敏夫議員議席12番、宇治徳庚議員を指名いたします。日程第2、会期の決定の件を議題といたします。お諮りいたします。本臨時会の付議事件は予め告知のとおりでありますので、会期を本日一日としたいと思いますがこれにご異議ありませんか。

（議場 異議なしの声）

○議長

異議なしと認めます。よって会期は本日一日と決定いたしました。日程第3、議案第1号平成22年度辰野町一般会計補正予算（第8号）を議題といたします。議案の朗読をいたさせます。

○議会事務局長

(議案第1号 朗読)

○議長

提案者より提案理由の説明を求めます。

○町長

それでは平成22年度辰野町一般会計補正予算(第8号)を提案するにあたりまして、提案理由を申し上げます。今回の補正予算は国の補正に伴う交付金事業の補正障害者自立支援事業、またインフルエンザ予防接種事業、林道整備事業、両小野中学校負担金などの補正予算であります。この補正総額は1億2,767万1,000円の増額であり、予算総額は87億1,388万8,000円となりました。その概要を申し上げますと歳入につきましては普通交付税、分担金及び国・県支出金の増額補正であります。歳出につきましては、総務費ではきめ細かな交付金及び住民生活に光をそそぐ交付金事業などの補正であります。民生費では、障害者自立支援事業費等の増額、上辰野介護予防センターの備品購入、保育園・幼稚園等へ自動体外式除細動器装置いわゆるAEDに伴う経費の補正であります。衛生費では、インフルエンザ予防接種事業、福寿苑の改修経費に伴う繰出金等の補正であります。農林水産業費では、農業活性化緊急基盤整備事業による水路改修10地区、作業道・林道整備工事の補正であります。土木費では、道路台帳整備及び融雪剤購入の補正であります。教育費では両小野中学校のプール改修工事に伴う負担金の増額等であります。公債費では元金償還金の増額であります。また不足による財源に対応するため予備費を充当いたしたいとします。

以上のとおり補正予算の概要を申し上げましたが、必要に応じまして各課長より説明いたさせますのでご審議の上、原案可決くださいますようお願いいたしまして提案理由とさせていただきます。

○議長

これより質疑、討論を行います。ありませんか。

○根橋(9番)

12ページの委託料の関係で自殺対策講演委託料等が計上されておりますけれどもこの自殺対策は非常に重要なことであって、これ自体は何らかの対策してかなきゃいけないっていうことなんですけども、一つは今ここできて急に補正予算という形

でバタバタした感じが出てきたっていうこと、これは何かメニューでこういうふうのは選択をするっていう形でやったのかどうかは1点です。それから今度は具体的に中身なんですけれども、私の理解ではこの自殺防止対策っていうのは講演会やったりパンフレット配れば自殺防止ができるかっていうと、そんな甘いものじゃないんじゃないかっていうふうに思っているんですね。それよりむしろやっぱり今全国的に有名なのはご存知のとおり秋田県が全国でも一番自殺率が高いということで県をあげて取り組んでいるんですけれども、こういう啓発はもちろん大事なんですけれども、それよりもやっぱり個々のケースワークと言うか本当に総合的な特に本人の特に鬱病対策、それからその原因となっている経済的な悩みによる、追い込まれていくことによる自殺も多いというように聞いているんですけれども、そういったやっぱりカウンセリングと言いますかねそういったことを充実していかないと、こういうただ講演やったりリーフなんていうことはもうそんな時代は過ぎていて、そういう態勢が遅れているためにやはり自殺に追い込まれていく方が多いっていうふうに聞いているんですけれども、このような形で本当にですね自殺が防止できるというふうに考えているのかどうかちょっとお聞きしたいと思います。

○まちづくり政策課長

今回の住民生活に光をそそぐ交付金の内容でございしますが、これまで住民生活にとって大事な分野でありながら光が十分に当てられてこなかった分野として地方消費者行政、DV対策、自殺予防等の弱者対策、自立支援、知の地域づくりに対する地方の取組みを支援する交付金ということで、交付金のメニューの中にあるものがあります。

○根橋（9番）

中身はどのようなものですか。

○保健福祉課長

中身についてでございますが現在のところ自殺予防の講演会、並びに啓発のリーフレットの配布等を予定をしております。議員おっしゃるとおり内容的なものそのような関係のものも研究しながら今後進めていかなきゃいけないかなというふうには感じております。よろしくお願ひします。

○根橋（9番）

そうしますとね、これはある意味入口というふうに理解をしているんですが、そ

れでは来年度に向けてね具体的に自殺防止対策については、じゃあ今の段階でどのようなことを考えておられるんですか。

○保健福祉課長

現在はこれを22年度は予定をしております、23年度については内容の吟味まだ現在のところできておりませんが、吟味をして内容について進めていきたいというふうに思います。なおちょっと予算措置についてはまだ現在のところしていません。

○議 長

ほかにございませんか。

(な し)

○議 長

質疑、討論を終結いたします。これより議案第1号平成22年度辰野町一般会計補正予算(第8号)についてを採決いたします。お諮りいたします。本案は原案のとおり決するにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議 長

異議なしと認めます。よって議案第1号は原案のとおり可決されました。日程第4、議案第2号平成22年度辰野町介護老人保健施設特別会計補正予算(第3号)を議題といたします。議案の朗読をいたさせます。

○議会事務局長

(議案第2号 朗読)

○議 長

提案者より提案理由の説明を求めます。

○福寿苑事務長

それでは議案第2号平成22年度辰野町介護老人保健施設特別会計補正予算(第3号)の提案理由を申し上げます。1ページをお開きください。今回は歳入歳出それぞれ660万円の増額補正をお願いし、歳入歳出の総額を2億6,310万8,000円とするものであります。それではその内容を申し上げます。6ページの歳入をご覧ください。まず歳入につきましては繰入金として一般会計より繰入をいただき420万円を増額補正するものであります。次に7ページをご覧ください。県支出金につきま

しては県補助金として施設開設準備経費助成特別対策事業補助金 240 万円を補正するものであります。次に 8 ページをご覧ください。歳出の内、一般管理費の工事請負費につきましては個室療養室を 2 人部屋とする改修工事であります。次の備品購入費につきましては、療養室改修工事に伴い必要となります介護ベッド、車椅子、ポータブルトイレ等の備品購入費であります。

以上、提案理由を申し上げました。ご審議の上、原案可決いただきますようよろしくお願いいたします。

○議長

これより質疑、討論を行います。ありませんか。

○船木（7 番）

8 ページであります。今療養室の改修工事というふうに話が出されました。福寿苑については 30 床の増床というのが認められていたわけなんですけれども、今その 30 床増床というのが頓挫しているかに見えます。今ここで個室を改修して 2 人部屋にして何人か 4 床ほど増えるのかどうなのか、例えば 4 床増えたとしても 54 床ということになるわけなんですけれども、病院問題と絡めてですね福寿苑も同じように足並みを揃えて進めていかなきゃならんところだと思うんですけれども、今ここで 54 床っていうのはどういう目的でやられるのかどうなのか、それがまず 1 点。それとですね老健施設に対しては何ら補助金がないというのが今までの説明であったように理解しております。ここで県の補助金が出てきたというのはどういうわけなのかこの 2 点についてお尋ねします。以上です。

○福寿苑事務長

それでは質問にお答えいたします。まずはじめに 54 床の目的、4 床増にする目的は何かということですが、これにつきましては第 4 期介護保健事業計画において 30 床の増床計画を盛り込んであります。この計画におきまして現状を踏まえた中では 30 床の増床は無理ということですので、その中でいろいろ考える中で福寿苑の中での増床が最善策と考え、ここに提案したわけがございます。またそのことによって運営の改善を図っていきたいということでもあります。次の 2 点目の質問ですが補助金につきましては、これは県との折衝をしている中でハード面については一切老健への補助金というものはございません。その中でソフト面については県の補助金があるということで県の方から言われましたので、ここでそ

のソフト面のこの補助事業を使って備品の充実を図っていききたいと、増床による介護ベッド等のものを購入をしていききたいということでございます。

○船木（7番）

それでは今までのですね30床の増床計画というのはここで取り止めにして、4床増やして54にしていくのかどうなのか。30床についてはいかがなのか、どうするのかということですか。

○福寿苑事務長

この計画につきましては30床の中の4床の部分を前倒しでやるというような考えでございますので、残る26床につきましては第4次の計画が23年度までございますので来年度、について考えていききたいと思っております。

○議 長

よろしいですか。

○船木（7番）

はい。

○議 長

ほかにございませんか。

（な し）

○議 長

質疑、討論を終結いたします。これより議案第2号平成22年度辰野町介護老人保健施設特別会計補正予算（第3号）についてを採決いたします。お諮りいたします。本案は原案のとおり決するに、ご異議ありませんか。

（議場 異議なしの声）

○議 長

異議なしと認めます。よって議案第2号は原案のとおり可決されました。

以上で本臨時会に付議された事件は全部終了いたしました。よって平成23年第1回（1月）辰野町議会臨時会を閉会といたします。大変ご苦労様でした。

1 1 . 閉会の時期

1 月 13 日 午後 3 時 54 分 閉会

この議事録は、議会事務局長 桑沢高秋、庶務係長 赤羽裕治の記録したものであつて内容が正確であることを認め、ここに署名する。

平成 年 月 日

辰野町議会議長

署名議員 番

署名議員 番